

グランド・オープン記念!  
AQUA MAGIC  $\alpha$  ocean  $\alpha$

Photo Takaji Ochi  
Text Hideki Terayama  
Model Emi Ochiai  
Special thanks AQUA MAGIC  
Palau Royal Resort, Palasia Hotel Palau  
Dolphins Pacific  
Design Sana  $\alpha$



ocean (海) にプラス  $\alpha$  (アルファ) して  
新しい価値を生み出したとの思いでオープンした「ocean+ $\alpha$ 」。  
AQUA (水) にMAGIC (魔法) をかけて  
新しい価値を生み出したとの思いを持つ「AQUA MAGIC」。  
そんな共通コンセプトを持つ両者がタッグを組み、  
グランド・オープンを記念して、ダイバーの憧れの海・パラオをご紹介!  
ダイビングだけでなく、ダイビング以上をよくばって、  
本気の楽園パラオを丸ごと遊ぼう!!

ダイビング+  $\alpha$  で  
MAGIC  
パラオを丸ごと遊ぶ!  
First Palau



「ブルーコーナー」の見どころといえばその圧倒的な魚群。目の前で積乱雲のようにギンガメアジが渦を巻くシーンは圧巻

## ブルーを超える スーパーブルーの正体

パラオの自然に触れると、まず印象的なのが風景の“色づかい”。色鮮やかな南の島の色たちはどれもハッキリと主張を通し、南の島がちゃんと南の島らしくそこに在る。本気の楽園。

特に印象的な色は、ダイバーとしてはやはり、青。ブルー。船上から空を見上げれば、雲ひとつないスカイブルーがどこまでも。視線を落として外洋を見やれば、水平線を境に紺にも近い深い色、インディゴブルーの海がはるか彼方まで。さらに、浅瀬に目を移せば、隆起したサンゴ礁の上に植物が育ってきたロックアイランドの風景で、その深い緑を溶かしたように、島々の周りにはエメラルドグリーンが広がっている。

海の中へ潜ってみれば、赤道直下の強烈な日射は青を消し、水面から水底がはっきりと見えるほど水は澄んでいる。潜降は気をつけないと、耳に圧力を感じてはじめて結構沈んでいることに気づくほど、水の存在を感じさせない透明度だ。



着底してぐると見渡すと、深みのある濃い青色=ワイルドな紺碧の海が広がり、それでいて透明度が良いので

世界的に有名な「ブルーホール」。光と闇の共演で生み出される、幻想的なブルーの世界を堪能できる

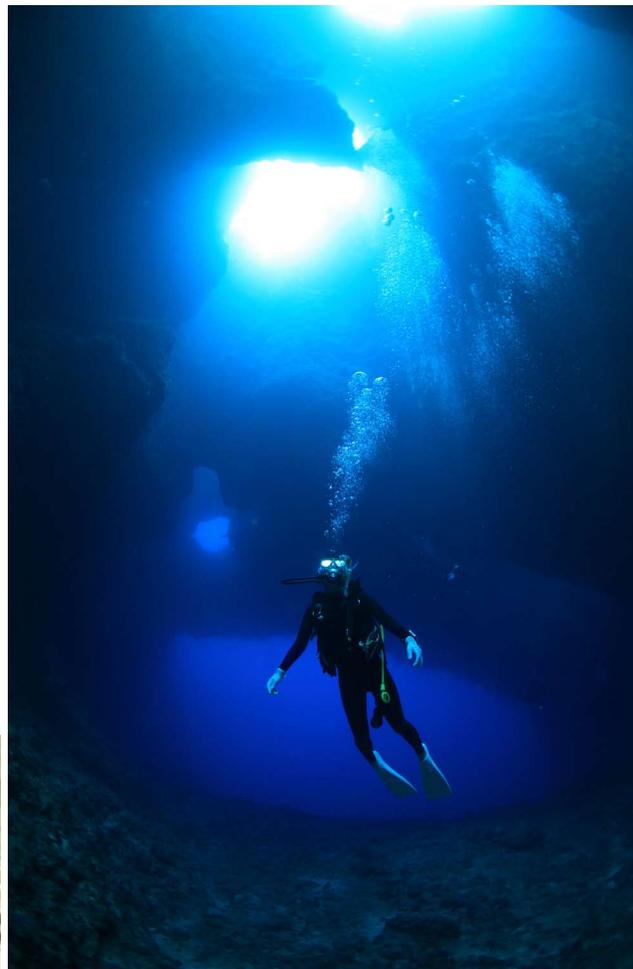
船上からも見える浅場の縦穴から進入すると、水深27m付近で巨大なホールに達する。それぞれ4つの穴から強烈なパラオの日射しが光のシャワーのように降り注ぎ、漆黒を切り裂く

大物に目が奪われがちだが、実は小物も豊富な「ブルーコーナー」。ドロップオフ沿いに潜降すると、“マクロの穴”と呼ばれる砂だまりがあって、ヘルフリッチやアケボノハゼなど、人気ハゼの密集エリア



こまでも先が見通せる。ドロップオフから見下ろすと、青は次第に深みを増し、やがて終わりのない水底へと吸い込まれていく。そのブルーのグラデーションがまた何とも美しい……。

抜群の透明度と強烈な日射しの助けを借りて、海の中で七変化を見せるパラオのブルー。既存の色を超越する、スーパーブルーの正体だ。



日本では深場でしか見られないフチドリハナダイ。ハナダイフリースにはたまらない魚だが、パラオでは比較的浅い水深でウオッチング可能。ライトを当てると、気品ある美しい体色が際立つ



# ダイビング+海の人気者たち



パラオのマントポイントといえば「ジャーマンチャネル」。早朝と午後15時以降の決まった時間だけ近づくことが可能で、運良く食事の時間に遭遇すれば、大口を開けたまま、優雅に旋回や宙返りするマンタを目の前で見ることができるかも!? 干満の差が大きく、上げ潮が勢いよく流れる大潮前が狙い目

愛美ちゃん、うしろうしろ~



憧れのナポレオンと大接近!

どや!?



突起した頭がナポレオンの帽子に見えることから、「ナポレオン」の愛称で親しまれているメガネモチノウオ。一般的には神経質だが、このナポレオンは警戒心が弱く、ダイバーを見ると近づいてくる

## 憧れの“会いたい”を全部叶えてくれる海

世界最高との呼び声高い「ブルーコーナー」。その1本はちょっとわけが違う。

エントリーすると、いきなりサメが目の前を悠然と通り過ぎ、着底して中層を見上げれば渦巻くバラクーダ、ドロップオフからは湧き上がるギンガメアジ。サンゴ礁の周りに群れる小魚は強烈な日射しに反射してキラキラ煌めき、ドロップオフ沿いで寝ているウミガメに見とれていると、背後から気配が……はっ!? 振り返るとナポレオンの顔がすぐそこに。

これが日常。“1ダイブでパラオを語れる”と言われるゆえんだ。さらに、「ジャーマンチャネル」に潜れば、ダイバーに人気No.1のマントだってぐるぐるん。

これら人気スポットは割と近い範囲にあって、コンパクトにいいとこ取りな出会いを楽しめるのだ。



オプションダイビングで会いたい! 2大アイドル

01/サンゴやガレ場に潜むニシキテグリ。夕方になると、ヘアで中層に向かって泳ぎ放卵&放精を行なう  
02/ 前後に揺れる独特の仕草がカニに似ていることから、カニハゼの愛称で親しまれている

### ●パラオの海はなぜすごい?

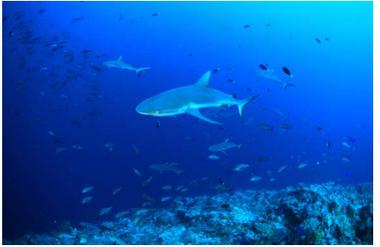
パラオの火山活動や海面変動による歴史と地球のダイナミズムは100km以上にも及ぶバリアリーフを作り上げ、栄養豊富な湧昇流(深場から上に向かう流れ)を受け止める役割を果たし、外洋のドロップオフ沿いに豊かな生態系を生み出している。

また、島の周りのサンゴ礁は栄養分を生み出す魚のアシズで、島とバリアリーフの間のラグーン(礁湖)は、内湾性の生物を育み、外洋性の幼魚を育てる生命のゆりかご。さらに、ラグーンと外洋を結ぶチャネル(水路)は、潮や生物が異なった環境を行き来できるようにしている。これら多彩なバリエーションの水中環境が、ダイバーの夢がすべて詰まった豊かな生物相を作り上げているのだ。

サメが大好きな外国人ダイバーにとって、パラオはサメ天国。流線型のボディラインが美しいグレイリーフシャークをはじめ、ホワイトチップなど、迫力あるサメらしいサメを至近距離で観察できる。余程のことがなければ人を襲うことはない



03/ソフトコーラルのアイドル、クダゴンベ  
04/砂地のアイドル、ヤノダテハゼ  
05/岩の表面のアイドル、キャンディケインドワーフコピー



# 心を脱いで童心にかえる!



## ダイビング+海遊び

白い絵の具をたくさん入れたようなロックアイランドの一角にある不思議な色の海域で、海底に積もる砂泥状の真っ白な石灰岩は、バックにするとお肌がいいと評判。天然エステのあとは、海へ飛び込めー!  
\*ダイビングの場合、必ず行けるとは限りません



ダイビング+  
α  
MAGIC  
で  
パラオを丸ごと遊ぶ! First Palau  
2012 Summer [Palau]



©ocean+ α ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます

Information Link  
<http://www.aquamagicpalau.com/>

関連情報HPへ

ダイバー以外にも多くの人が訪れるパラオでは、海遊びのラインナップは豊富。

無人島を巡るアイランドホッピングやスノーケリングはポピュラーだが、変わったところでは、「ジェリーフィッシュレイク」で無数のクラゲの中を泳いだり、「ミルクウェイ」の水底に沈む泥パックでお肌つつる、なんてアクティビティもある。

ダイバーなら、ダイビングの合間にできることもあるし、海に親しんでいる分、ワンランク上の海遊びを楽しめるはず。

減圧症予防のため、ツアーの最終日はフリータイムになることも多いので、パラオの大自然を体感できるシーカヤックやトレッキングツアーをアクティブに楽しむのもあり。童心に戻って、海も陸も丸ごと遊ぼう！

ダイビングポイントまでの時間も極上のクルーズタイム。イルカが並走したり、チャネルでは移動中のマンタに会うことも。ちなみに、写真の「ジャーマンチャネル」は、船が外洋へ出られるようバリアリーフを人工的に削って造られた



# ダイバーなら海遊びも2倍楽しめる!?

01



01/その名も「ジェリーフィッシュレイク」では、日が高くなると湖面を覆い尽くすほどのクラゲ（無害）が姿を現わす。\*フィンで傷つけないよう、ガイドさんの指示に従おう

02/「ジェリーフィッシュレイク」は、ロックアイランドに囲まれた中にあるので、山をひとつ越えてアプローチする



地殻変動によって沈んだ海中鍾乳洞「シャンデリアケーブ」。途中、エアドームがあり浮上することも可能

天然の泥パックを塗りあいつこ。小学生に戻る瞬間

26年前にパラオを訪れて以来、20回以上は撮影にやってくる越智カメラマンが「これまで撮影した中で一番きれいかも」と絶賛する無人島のラグーン。無人島でランチをとることもある



パラオの浅瀬は極上のスノーケリングポイント。ひとたび海に飛び込めば、そこはサンゴの楽園



トレーナーの指示通り、手を上げる合図でイルカがジャンプ!



イルカと泳ぐ  
水面で待っていると、イルカがやってきて泳がせてくれる



イルカと握手  
泳がなくても桟橋から触れあえる



イルカとダイビング  
水中でイルカにタッチ。その感触はまるでナス!?

Dolphins Pacific  
ドルフィンズ・パシフィック  
http://www.dolphinsspacific.com/



## イルカとダイレクトにふれあう夢体験

「イルカに会いたい!」どころか、「イルカとふれあいたい!」なんて贅沢な夢まで叶うのがパラオのすごいところ。夢の舞台は《ドルフィンズパシフィック》。東京ドーム2個分の広大な敷地内で、イルカとダイレクトにふれあい、間近で鳴き声や肌の感触を体感できる。

桟橋からタッチ、スノーケリング、ダイビングなど、プログラムのラインナップも多彩

で、ダイバーはもちろん、ノンダイバーでも、大人から子供まで、老若男女楽しめる。

好奇心いっぱいのイルカたちは、エサをおねだりしたり、顔をのぞきこんできたりと愛嬌たっぷり。中には「遊ぼうよ!」とばかりに、落ち葉をくわえてもってくるイルカも。イルカたちの前では、誰もが子供のような笑顔。

ねえ、あそぼ♪



枯れ葉をくわえてやってきたイルカ。仕草のひとつひとつがキュン死にしようくらい可愛い



プライベートビーチでつるぐ

## 海辺で過ごす 優雅な休日を

パラオの滞在スタイルはさまざまだが、最もにぎわうコロール周辺のホテルやリゾートに滞在するのが一般的。

リーズナブルなホテルでダイビングを思いっきり楽しむのも手だが、せっかくの楽園。リゾートステイで贅沢なひと時を過ごすことをオススメしたい。

今回、取材班が滞在したのは、3大リゾートホテルのうちの《パラオ・ロイヤルリゾート》と《パレシア・ホテル・パラオ》の2つ。オーシャンビューのテラスで朝日を浴びて、ビュッフェでブレイクファースト&モーニングコーヒー。ダイビングの後や最終日はプライベートビーチ、もしくはプールサイドで日光浴を楽しみ、ショッピングはリゾート内のデューティーフリーで。夜はオシャレなバーで、ヨルト（海から吹く風）に包まれながらグラスを傾けるリゾートライフ……。海辺で過ごす優雅な休日を。



テラスで海を一望

01/DFSでお買い物  
02/朝食はビュッフェスタイル

02

## palau royal resort

パラオ・ロイヤル・リゾート  
● <http://www.palau-royal-resort.com/>

マラカル島東岸の静かな湾に面した日航系のパラオ随一の豪華リゾート。全室バルコニー付きのオーシャンビューのゲストルームは、清潔感にあふれ、アメニティグッズも充実し、何不自由なく快適に過ごすことができるだろう。プライベートビーチとプールもあって、ワンランク上の贅沢なリゾートライフを満喫できる。ダイビングショップが併設されているほか、マラカル島のアクアマジックまでおよそ2分。



## PALASIA HOTEL PALAU

パレシア・ホテル・パラオ  
● <http://www.palasia-hotel.com/jp/>

パラオの中心地コロール街のメインストリートにそびえ立つランドマーク的存在ながら、海が一望できるロケーション。7階建てのロビーは開放的な吹き抜けの構造で、ロビーを囲むようにバルコニー付165室もの客室がある大型リゾートホテル。プライベートプールやDFSが併設され、レストランやショッピングの集中するコロール中心街にもほど近く、何かと便利。ダイビングはホテルまでピックアップに来てくれる。



## 意外と高い!? パラオの女子力

「パラオは潜るところ。ショッピングやエステのイメージはあまりない」。これが一般的なパラオのイメージだが、今回、初めてパラオを訪れたモデルの愛美ちゃんは、抱えきれないほどショッピングの戦利品を広げながら「かわいいワンピースがたくさんあって8着も買っちゃいました〜」とご満悦。「確かにお店の数は少ないけど、南国らしいブレスレットやイヤリング、ピアスなど、探すと掘り出しものが結構ありますよ。しかも値段が安いし、ショッピングも楽しいですよ」と愛美ちゃん。パラオの女子力もなかなかあなどれないのだ。

ちなみに、オススメのお店は、オリジナル商品が多く、越智カメラマンが男性に大人気だというTシャツを絶賛し、筆者もコモリをモチーフにしたネックレスにひと目惚れした日本人経営の「ヨルト・パラオ」。

愛美ちゃんがワンピースや水着を買っていたお店は、パレイシア・ホテル・パラオのすぐ近くにある「PARK AND PICK GIFT SHOP」というお店で、「リゾート内のショップにもかわいい小物がいっぱいあって楽しいです。ココナッツオイルやシェルの小物なんかを買いました。バックも欲しいけど、次に素敵な人と来たときかな(笑)」とのこと。

そして、女子旅には欠かせないエステといえば、「クール・エ・コール」。日本に本店がありスタッフは皆日本人なので安心。「ミルキーウェイ・フェイシャル」など美白コースから、ボディマッサージ、マッサージやバックなどすべてがセットになった一番人気の「パラワンラグジュアリー・スペシャル」までコースは多彩。女性はもちろん、男性やカップルにもファンが多い。

実は、意外と女子力の高いパラオ。リゾートステイでショッピング、エステを組み合わせた女子旅はいかが!?

喧騒とは無縁のアラカベサン島にある日本人経営のエステ店《クール・エ・コール》。ダイビングの後は、疲れを癒すボディケア、強烈な日射しを浴びたお肌のトリートメントでリラックスタイム



**Coeur et Corps**  
 クール・エ・コール  
 http://www.aquamagicpalau.com/coeur.html  
 日本語 OK  
 完全予約制 (受付時間 9:00 ~ 20:00)  
 ※当日予約の最終受付は17:00まで  
 TEL (680)488-5863, (680)779-1770  
 E-mail palau@coeurcorps.jp



モデルの愛美ちゃんは、ツアーの中盤にしてこの買い物品数! この後もさらにショッピング熱は上がり……



ショッピングできるお店は、コロールのメインストリート沿いにくつか点在している



01/02/「パラオらしいおみやげが欲しい」という人には、パラオのココナッツオイルがオススメ  
 03「ヨルト・パラオ」はオリジナルグッズが充実。売れ筋は写真の可愛いタコクラゲのアクセとオリジナルTシャツ。パラオ最大のショッピングセンターWCTCの目の前にある

## 人気の秘密は パラオのダイブマジシャンたち!?

今回、オーシャナのオープン記念としてパラオをエスコートしてくれたのは、ダイビングにはプラスαが必要という共通コンセプトを持つ《AQUA MAGIC》。

「遠征したり、マニアックに走らなくても、パラオのダイビングは十分に楽しめます。また、グルメや交流、リゾートライフなど、陸上のプラスαの部分も含めてパラオの魅力を感じて欲しいですね」と、海はもちろん、器材のセッティングから無人島、エステ、ディナーまで、陸上のサポートも万全なのが嬉しい限り。

サポート&エスコートするのは、パラオのダイブマジシャンと呼ばれる経験豊富で陽気なスタッフたち。魚やカメラの知識も豊富だが、何より、かゆい所に手の届く行き届いたケアは特筆もの。

実際、今回案内してくれたガイドのジンさんは、久しぶりのダイビングだったモデルの愛美ちゃんが流れにつかまればいち早く手を差し伸べ、陸上でもさっと衣装を直したりと、「私の考えていることがわかるみたい!？」という細かいケアぶり。こういうところが、ダイビング雑誌の人気投票で何度も1位を獲得する理由なのだろう。

初めてパラオへ行く方。ぜひ《アクアマジック》に行ってみてください。



オシャレなデザインのTシャツが人気



今回、お世話になったガイドのジンさんこと佐藤仁(ひとし)さん。優しい人柄そのままの、キメの細かいガイディングで人気が高い

blog <http://ameblo.jp/aquamagic-jin/>



サーフショップ「アライ・サーフ」を併設する店内は、明るくオシャレな雰囲気、オリジナルグッズのラインナップも豊富

**Alii Surf**

☎ <http://www.aliisurfpalau.com/>



### AQUA MAGIC

☎ <http://www.aquamagicpalau.com/>

パラオ

P.O. BOX 10087, KOROR, PALAU 96940

TEL 680-488-1119

✉ [am1994@aquamagicpalau.com](mailto:am1994@aquamagicpalau.com)

日本事務所 (福岡県)

TEL 092-473-3221

✉ [japan@aquamagicpalau.com](mailto:japan@aquamagicpalau.com)

アクアマジックツアー

エアワールド 東京 ☎ <http://www.airworld.co.jp/>

TEL 03-5475-3373

✉ [tokyo@aquamagicpalau.com](mailto:tokyo@aquamagicpalau.com)